

Markdownの書き方

見出し

を先頭に記述します。H1~H6まであります。

```
# H1タグです
## H2タグです
### H3タグです
```

文字の装飾

- ** で囲むと文字を太字にできます。
- _ で囲むとイタリック体にできます。
- ~ で囲むと打ち消しできます。

```
**太字**
_イタリック体_
~~打ち消し~~
```

引用

先頭に > を記述します。

```
> 引用
>> 二重引用
```

水平線

_ か * か - を3つ以上連続して記述します。

```
***
---
```

コードブロック

``` (バッククオート) で囲みます。  
```の後に言語名を記述することでシンタックス  
ハイライトを利用できます。

```
```ruby
コード
```
```

箇条書きリスト

- か + か * を先頭に記述します。

```
- リスト1
- リスト2
  - リスト2_1
    - リスト2_1_1
```

番号付きリスト

番号. を先頭に記述します。すべての行で
同じ番号でも自動で番号を振ってくれます。

```
1. 番号付きリスト1
1. 番号付きリスト2
  1. 番号付きリスト2-1
```

リンク

リンクテキストを [] で、URLを () で囲みます。

```
[リンクテキスト](URL)
```

画像の埋め込み

タイトルを [] で、パスを () で囲みます。

```
![代替テキスト](画像のURL)
```

テーブル

| と - で記述します。

2行目に : を記述することで文字を右寄せ、左寄せ、中央寄せに揃えることもできます。

```
左揃え	中央揃え	右揃え
1	2	3
4	5	6
```